

プログラム

10:00-11:30 基調講演 Technology × Change: AI+時代の価値創造

12:00-17:40 ブレイクアウト・セッション

Lunch Sponsor エヌアイシー・パートナーズ株式会社

Room 1 [2F 華しらべ]	Room 2 [2F 華しずか]	Room 3 [3F シリウス]	Room 4 [3F オリオン]
	12:00-12:40 2-1 お客様講演 Think 2024および TechXchange 2024 フィードバック	12:00-12:40 3-1 Storage AIが実現するランサムウェア脅威の 検知とデータ・マイグレーション	12:00-12:40 4-1 Cloud watsonxと繋がる IBM Cloudのあの手この手
	13:00-13:40 2-2 お客様講演 エッジAIセンシングプラットフォームとMaximo/ TRIRIGAによる業務スペース活用効率化	13:00-13:40 3-2 Storage 将来を見据えた 次世代AI/分析向けストレージ基盤とは	13:00-13:40 4-2 Cloud どうするVMware、 IBM Cloudを用いた最適化戦略
14:00-14:40 1-3 Red Hat AI-native Enterpriseが生き残る時代の 理想的なIT Platformとは	14:00-14:40 2-3 お客様講演 三菱UFJ銀行の 勘定系モダナイゼーション事例	14:00-14:40 3-3 Power オンプレミス/エッジAIで使える IBM Powerの最新テクノロジーを体感しよう	14:00-14:40 4-3 Security 量子コンピューティング時代にむけて、 今から取り組むべきセキュリティー対策
15:00-15:40 1-4 量子コンピューター 「量子ユティリティ時代」の 量子ソフトウェア開発キット Qiskit 1.0	15:00-15:40 2-4 お客様講演 関西電力流 FinOps (クラウド最適化) の実践	15:00-15:40 3-4 Power “生成AI × IBM i” - IBM i 開発方法を 今、さくっとアップデートしよう	15:00-15:40 4-4 Security 生成AI時代に考えるべき データ・セキュリティー
16:00-16:40 1-5 デジタル変革のためのAI デジタル変革のためのAIソリューション	16:00-16:40 2-5 お客様講演 DXのためのデータ活用基盤	16:00-16:40 3-5 Mainframe メインフレームとAI技術 - 課題解決の新たなアプローチ	16:00-16:40 4-5 Sustainability Software Maximoと生成AIが切り拓く 新たな可能性
17:00-17:40 1-6 デジタル変革のためのAI IT変革のためのAI	17:00-17:40 2-6 お客様講演 生成AI×データ分析が UXの解像度を上げる	17:00-17:40 3-6 Mainframe メインフレーム・モダナイゼーションを 加速するAI活用術	17:00-17:40 4-6 Technology Diversity & Inclusion D&Iを進めるテクノロジーの取組

9:00-10:00 / 11:30-18:00 展示 18:00-19:00 Technology Happy Hour

12:00-17:40 ブレイクアウト・セッション

Lunch Sponsor エヌアイシー・パートナーズ株式会社

Room 5 [4F 飛鳥]

12:00-12:40

5-1

watsonx

AI領域の最新動向と課題、
IBMにおける傾向と事例紹介

13:00-13:40

5-2

watsonx

LLM学習データ整備の新時代
～ InstructLabで実現するファインチューニング

14:00-14:40

5-3

watsonx

生成AIの解体白書、RAGの大解剖

15:00-15:40

5-4

watsonx

LLM Opsと生成AI連携、watsonx.
governanceでAIモデルの統制を実践

16:00-16:40

5-5

watsonx

ノーコード、対話形式でビジネスデータ
分析やコード生成を実現するAI

17:00-17:40

5-6

watsonx

「未来の営業をシンプルに」営業活動での
活用ユースケースの紹介

Room 6 [4F 孔雀]

12:00-12:40

6-1

SPSS

ものづくり領域で活かされる
SPSSの今とこれから

13:00-13:40

6-2

SPSS

マーケティング領域で活かされる
SPSSの今とこれから

14:00-14:40

6-3

Data Management & watsonx.data

データ統合とAIのための
watsonx.data入門

15:00-15:40

6-4

Data Management & watsonx.data

生成AIでデータ・ファブリックと
データ・ガバナンスを簡単に

16:00-16:40

6-5

パートナー様講演

NTTデータによるAIデジタル従業員の
実現とそのアーキテクチャー

17:00-17:40

6-6

パートナー様講演

LinuxONEによるOracle Database基盤の
アジリティ/コスト効率向上

Room 7 [4F 花苑]

12:00-12:40

7-1

ApptioによるITファイナンス管理

クラウド利用の最適化と
アジャイルの効果的な実践に向けて

13:00-13:40

7-2

IT Automation

生成AIをIT運用の力に変える
IBM Concert

14:00-14:40

7-3

IT Automation

生成AIの運用術
大規模言語モデルアプリ最適化の実践対談

15:00-15:40

7-4

IT Automation

ネットワーク・トポロジーを活用した
根本原因分析の検証事例紹介

16:00-16:40

7-5

Application Runtimes & Integration

ローコードで実現、AI時代に求められる
システム統合と管理戦略

17:00-17:40

7-6

Application Runtimes & Integration

エンタープライズJavaのモダナイズも
AIにおまかせ

Room 8 [4F 清風]

12:00-13:40

8-1

watsonxハンズオン

さわってみようベクトル・データベース
watsonx.dataでRAG体験

14:00-15:40

8-2

watsonxハンズオン

誰でも簡単
自分だけのAIアシスタントを作ってみよう

16:00-17:40

8-3

watsonxハンズオン

安心・安全なAI活用のための
watsonx.governanceを体感しよう

Room 10 [4F 平安]

12:00-12:40

10-1

iPaaS

進化するIBM iPaaS、
ニューフェースを迎えてHybrid iPaaSへ

13:00-13:40

10-2

iPaaS

iPaaSで今すぐ始める、
手軽なITモダナイゼーション

IBM TechXchange Japan

AIの最先端とテクノロジーを体感しよう

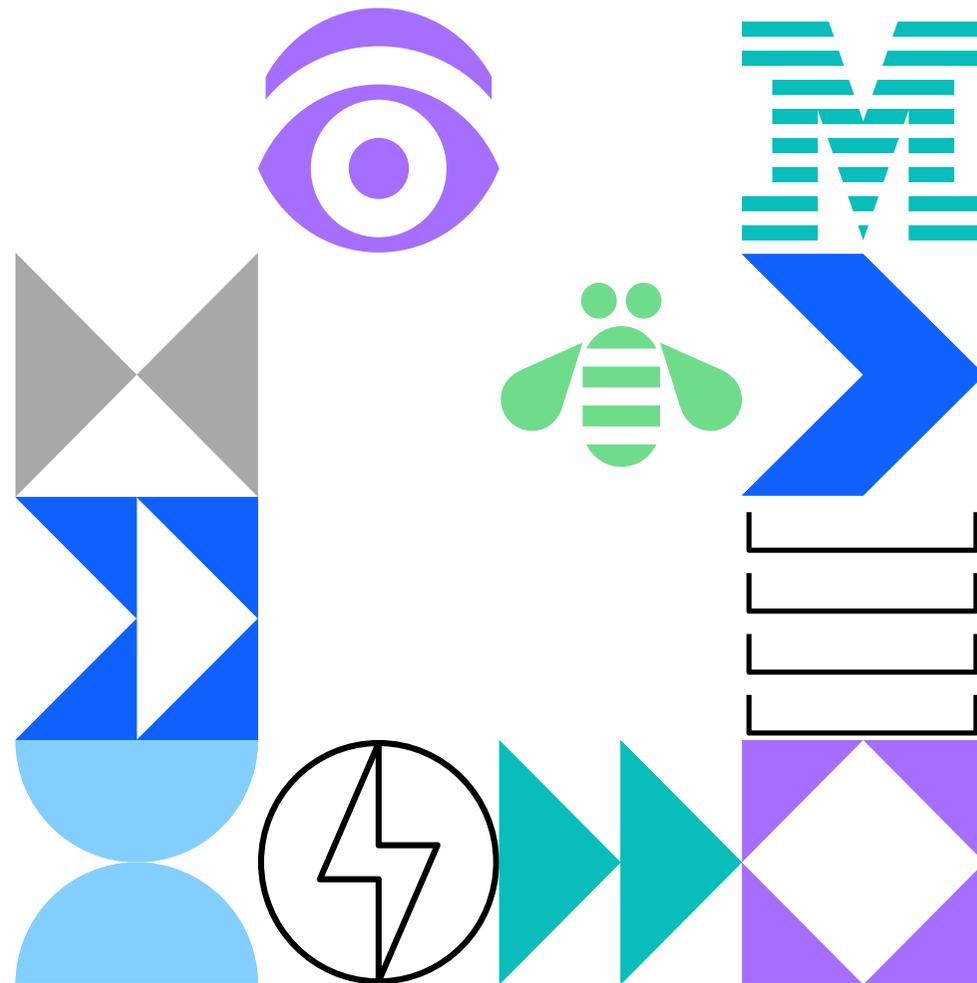
2024年11月27日(水) 10:00-19:00 (懇親会含む)

ホテル雅叙園東京 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1

アクセスは[こちら](#) → 

IBM製品とテクノロジーに関する最新情報をお届けし、体感いただけます。最新技術のセッション、デモ、ハンズオンの場を提供します。また、コミュニティー・イベント、技術者の皆様との交流の場を通じて、技術者同士が学び、繋がるネットワーキングの機会もご提供します。全てのセッションは日本語で実施されます。

ハッシュタグ：#IBMTechXchange



詳細はこちら

ibm.biz/techxchange24 →



プログラム

- 09:00 - 受付開始
- 09:00 - 10:00 展示
- 10:00 - 11:30 基調講演
- 11:30 - 12:00 ランチ
* ブレイクアウト・セッション会場前にて軽食をご用意しております
- 12:00 - 17:40 ブレイクアウト・セッション
- 11:30 - 18:00 展示
- 18:00 - 19:00 Technology Happy Hour

基調講演

Technology × Change: AI+時代の価値創造

日時：11月27日(水) 10:00-11:30

会場：2F 舞扇

ビジネスのためのAIを中心に、これからの価値創造につながる話題を取り上げ、IBMの魅力あふれる最新技術について、IBMのエンジニアによるデモを交えてご紹介します。セキュリティーやサステナビリティなど、エンジニアとして見逃せない技術も取り上げます。今回もレッドハット株式会社がゲストとして登壇し、AIやオープンソースの最新情報をご紹介します。

AIと最新技術がもたらす新しい体験を、ぜひイベント会場でご覧ください。

対象者レベル：全員(全てのレベル)

講師：

日本アイ・ビー・エム株式会社 テクノロジー事業本部所属のエンジニア
レッドハット株式会社所属のエンジニア

見どころ



お客様ご登壇セッションを含む 40以上のセッション

昨年に引き続き、日本IBM最大のIT技術者/開発者向けのイベントを開催します。今年は、お客様ご登壇セッションをはじめとした40以上のセッションでIBMテクノロジーの今を体験、学習できます。



コミュニティー

IBMのAIと最先端テクノロジーをテーマとしたコミュニティーが一同に集結！テクノロジーを活用した最新デモや、さまざまなテクノロジーに関わる技術者同士の交流、多彩なテーマのミニセッションを実施します。



展示・ミニシアター

展示・ミニシアターエリアではIBMの先端テクノロジーを集結させ、最新デモをご紹介します。ミニシアターは、「Meet IBM Research」「IBM Champion Tech Showcase」の二つの特別セッションをお送りします。

ブレイクアウト・セッション 1

<h3>お客様講演</h3> <p>今年はより実践的なIBMテクノロジーの価値をご体感いただくために、最前線で業務に適用し価値創出いただいているお客様とのセッションを開催します。様々な業種の方が、どのようにテクノロジーを適用しているのか、その解は一つではありません。現場の課題に向き合い、それをどの様に解決していくのか、もしくは共創するパートナーとしてIBMテクノロジーをなぜ選んでいただいたのか、リアルな事例をご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> エッジAIセンシングプラットフォームとMaximo/TRIRIGAによる業務スペース活用効率化 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 AITRIOS エバンジェリスト 丸山 杏那 氏 三菱UFJ銀行の勘定系モダナイゼーション事例 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社 預金商品開発部 シニアプロフェッショナル 神野 貴文 氏 関西電力流 FinOps (クラウド最適化) の実践 関西電力株式会社 IT戦略室 情報通信技術グループ ミヶ島 修平 氏 DXのためのデータ活用基盤 かんぼシステムソリューションズ株式会社 基幹システム本部 基幹システム第3部 部長 宮澤 輝光 氏 生成AI×データ分析がUXの解像度を上げる 三菱自動車工業株式会社 デジタルイノベーション推進部 主任 伴 俊広 氏 	<h3>パートナー様講演</h3> <p>パートナー様によるIBMテクノロジーを使用したハードウェアおよびソフトウェアを活用したソリューションの展開が進んでいます。パートナー様の業界および業種に対する深い経験と知見をIBMテクノロジーと組み合わせることによって、どのような価値をお客様にお届けすることができるのか、日本国内のパートナー様による共創の取り組みをご紹介します。</p>
<h3>IBM Champion</h3> <p>IBM Championは、IBM製品の卓越した専門知識と技術コミュニティへの貢献を認められた社外のエキスパートです。ミニシアターや展示で、最新のIBMテクノロジーや実践例を紹介します。コード生成モデル「Granite Code Models」を使ったリアルタイム・コーディングや技術者同士の交流を促進する展示などを通じて、技術の最前線を体感できます。IBM Championの専門知識とコミュニティ活動の魅力も紹介します。</p>	<h3>量子コンピューター</h3> <p>IBMは100超の量子ビット規模において量子コンピューターが古典アプローチを超える結果を導き出せることを初めて実証し、今、まさに、私たちは、量子ユティリティ時代の中にいます。より大規模で複雑な問題を量子回路にマッピングし、さらに信頼性の高い結果が得られるよう、オープンソースの量子ソフトウェア開発キットQiskitも機能拡張されています。当セッションでは、量子コンピューティングでどのような問題が解決できるのか、Qiskit 1.0を使ってどのように量子プログラムを構築、最適化していくかを、IBM Research 研究員が事例とともに分かりやすく解説します。</p>
<h3>デジタル変革のためのAI</h3> <p>企業が激しい市場競争に勝ち抜くために、生成AIはもはや必要不可欠なテクノロジーです。一方で、闇雲にAIを導入しても、成果が出ないどころか、企業にとってのリスクを高める結果になりかねません。このトラックでは、企業によるAI実用化を加速するデジタル変革のためのAIソリューションについてご紹介します。</p>	<h3>Power</h3> <p>IBM Powerをご存知のかたも、これから知りたいと思っておられるかたも、「AIをPowerでどうやって」と思われたかたも、その日頃の疑問や想いにデモと実機でお応えします。テクノロジーを体感いただけるセッションに、ぜひご参加ください。</p>
<h3>Red Hat</h3> <p>GraniteのオープンソースLLM化とInstructLabによるLLM開発革新を紹介します。AIを誰もが活用できる新製品・機能を解説し、既存製品へのAI統合も紹介します。オープンソースによるAIイノベーション加速と企業のAI導入支援方法を探ります。AIの民主化がもたらす可能性と課題、さらにOpenShift Virtualizationの最新動向にも触れ、包括的なIT革新を議論します。</p>	<h3>Storage</h3> <p>ご相談が多い「AI 利活用の推進」「仮想マシン環境の行く末」「莫大なデータの保管コスト増」「データ保護、運用の自動化」などのテーマに関して、最新ソリューションや事例について、実運用のデモや事例を交えてお話しします。GPUのパフォーマンスを最大化するストレージ、仮想マシンとコンテナの統合プラットフォーム、AIでランサムウェア脅威を検知するなど、皆様と一緒に次世代データ基盤について実感し、考え、議論する機会となれば幸いです。</p>
	<h3>Mainframe</h3> <p>半世紀以上にわたり変化の激しいIT業界の荒波を経験してきたメインフレームですが、いま新たな飛躍に向けた分岐点に立っています。セッションや展示を通して、コンピューティングの未来に向けた「今」を活かすメインフレームにおけるAI活用を共創するための最新動向をお届けします。</p>
	<h3>Cloud</h3> <p>今も話題の生成AI、何かと話題のVMware、2つのセッションで皆様をお迎えます。企業が安心して使える生成AIを提供するwatsonxを、安全で便利にご利用いただくための構成パターンをご紹介します。選択肢と柔軟性のあるVMwareサービスを提供するIBM Cloudからは、管理不要で1VMから使える日本初のVMwareサービスをご紹介します。今年もやります「IBM Cloud案内所」、お気軽にお立ち寄りください。</p>

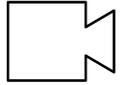
ブレイクアウト・セッション 2

<h3>Security</h3> <p>量子技術は現在のセキュリティー対策の根幹を支えている暗号技術に影響を及ぼす可能性があると言われていいます。また、大規模言語モデルの登場や自然言語処理の進歩により、生成AIの活用が進んでおりますが、こちらでもセキュリティー対策を講じた活用が不可欠になっています。この2つの領域に関して、企業が取るべきセキュリティー対策に関して、ご説明します。</p>	<h3>ApptioによるITファイナンス管理</h3> <p>DXの進展には、ITファイナンスを軸にした柔軟性とスピードを持つクラウドやアジャイルの活用が不可欠です。DXの効果を最大化するため、クラウドコストの可視化を通じた最適化方法と、開発リソースをビジネスメリットに応じて調整しプロジェクトやプロダクトの価値を最大化する手法をデモを交えてご紹介します。</p>
<h3>Sustainability Software</h3> <p>本トラックでは、IBM Maximoと生成AIの活用による新たな可能性と、MaximoとEnviziを用いた次世代アセット・ライフサイクル管理を紹介します。セッションでは具体的な事例や課題解決策を対談形式で深掘りし、展示ではEnviziを含めた最新技術と実践的ソリューションを提供します。最新トレンドや専門家の知見を直接お届けし、皆様の業務改善に役立つ情報を提供します。</p>	<h3>IT Automation</h3> <p>複雑化したITを取り巻く環境に対し、生成AIを活用して運用の高度化に取り組む環境が整ってきました。新たにThink 2024で発表になった生成AI駆動の自動化プラットフォームであるIBM Concertや、Observabilityによる障害可視化と解消に向けての時間短縮、運用の高度化に取り組むお客様事例などをご提供します。</p>
<h3>Technology Diversity & Inclusion</h3> <p>Diversity & Inclusion、企業における多様性や、それらを包摂する文化の醸成がいかに重要なものであるか、認知されるようになって久しいかと存じます。このトラックではIBMのD&Iに対しての取り組み、その中でもテクノロジーを用いた事例についてご紹介します。企業文化の変革や個人からできる取り組みを通じて、より豊かな職場環境を実現するための参考にと考えます。</p>	<h3>Application Runtimes & Integration</h3> <p>企業におけるAIの活用と既存システムの連携に関する課題、従来型のエンタープライズJava環境のモダナイゼーションについて取り上げます。前者では非技術者でも実現可能なシステム連携方法やAI利用の管理手法、後者ではIBMの次世代ランタイムやAI技術を活用したコード生成などを用いて、開発・運用コストを削減しつつ、クラウド・ネイティブな環境への移行方法について説明します。それぞれデモを交えながら分かりやすくご紹介します。</p>
<h3>watsonx</h3> <p>最新のAIに焦点を当て、ビジネスに必要不可欠になっていこうとしている生成AIを中心としたAIプラットフォームwatsonxについて様々なユースケースや事例・デモを実施します。生成AIの活用やモデルチューニング、非構造化データの扱い、AI倫理、既存システムとの連動のための連携に至るまで、AI活用を一貫して形成できるwatsonx製品群の実務への有用性を通して、ぜひAIの魅力と可能性を体感ください。</p>	<h3>watsonxハンズオン</h3> <p>AIプラットフォーム watsonxに触れるハンズオン・セッションに参加し、実践的な経験を積みましょう。経験豊富な専門家と気軽にコミュニケーションをとりながらwatsonxを体験するための演習を実施します。ご自身のPCを持ち込み、実際に体験して学びましょう。お席に限りがありますのでお早めにお申し込みください。</p>
<h3>SPSS</h3> <p>今年6月に800名超がオンライン視聴したSPSSの春のユーザー・イベントの秋の回をTechXchange内で開催します。ものづくり領域とマーケティング領域で合計4社のユーザー企業に登壇いただきます。SPSSをこれから検討する方にも分かりやすいライトニング・トーク形式で、活用事例に加え生成AIや新たな技術との連携イメージを実機デモンストレーションにて披露いただきます。</p>	<h3>iPaaS</h3> <p>IBMの新たな仲間であるwebMethodsを活用し、iPaaS(Integration Platform as a Service)の価値をご紹介します。iPaaSは多様なデータを柔軟に連携し、AI時代に必要なITモダナイゼーションを実現させることが可能です。IBMが目指すHybrid iPaaSとは何なのか、より柔軟でスケーラブルなシステムを短期間で構築することが可能なwebMethodsをデモや事例を通じて迅速なデジタル・トランスフォーメーションの具体的な方法をご紹介します。</p>
<h3>Data Management & watsonx.data</h3> <p>ビジネスのためのAIには信頼できるデータ基盤が必要です。自社データを活用するための重要なデータストア・ソリューションであるwatsonx.dataの概要と最新情報を紹介します。メインフレームを含む多様なデータ統合、watsonx.dataと連携可能なDb2、Db2 Warehouse、Netezzaなどの最新情報、生成AIを組み込んだIBM Data FabricとData Governanceもご紹介します。</p>	

展示

日時：11月27日(水) 9:00-10:00/11:30-18:00

会場：2F 華つどい



ミニシアター

ミニシアターでは、「Meet IBM Research」「IBM Champion Tech Showcase」の二つの特別セッションをお送りします。

「Meet IBM Research」では、製品の開発者との直接の対話を通して先端テクノロジーの一端を、「IBM Champion Tech Showcase」では、IBM製品をこよなく愛し利用されているユーザーからの最新技術の組み合わせによる実践的なデモをご紹介します。

AI時代の先端ソリューションを間近でご覧いただけます。



展示ブース

展示エリアではIBMの先端テクノロジーが集結。テクノロジーを活用した最新デモや、さまざまなテクノロジーに関わる技術者同士の交流、多彩なテーマのデモやプロダクトの機能のご紹介を行います。

IBM技術者と直接コミュニケーションする“半径1mの体験”をお楽しみください。

ハッピーアワー

Technology Happy Hour

日時：11月27日(水) 18:00-19:00

会場：2F 舞扇

TechXchangeのプログラムを締めくくる最後の時間でレセプションを企画しています。お食事とドリンクをご用意しますので、リラックスした雰囲気の中で技術者の皆様同士の交流を楽しんでください。ぜひこの機会にネットワーキングを深め、一日を笑顔で締めくくりましょう。



詳細はこちら

ibm.biz/techxchange24 →

